

薬剤部 DI ニュース

● 新しい睡眠導入薬 **ロゼレム®** (一般名:ラメルテオン) について

従来の睡眠薬は、鎮静作用や抗不安作用などにより、**脳の働きを抑えて**、眠りに導きます。ハルシオンなどのこれらの薬は、副作用として前向性の健忘や筋弛緩作用がみられるのが特徴です。

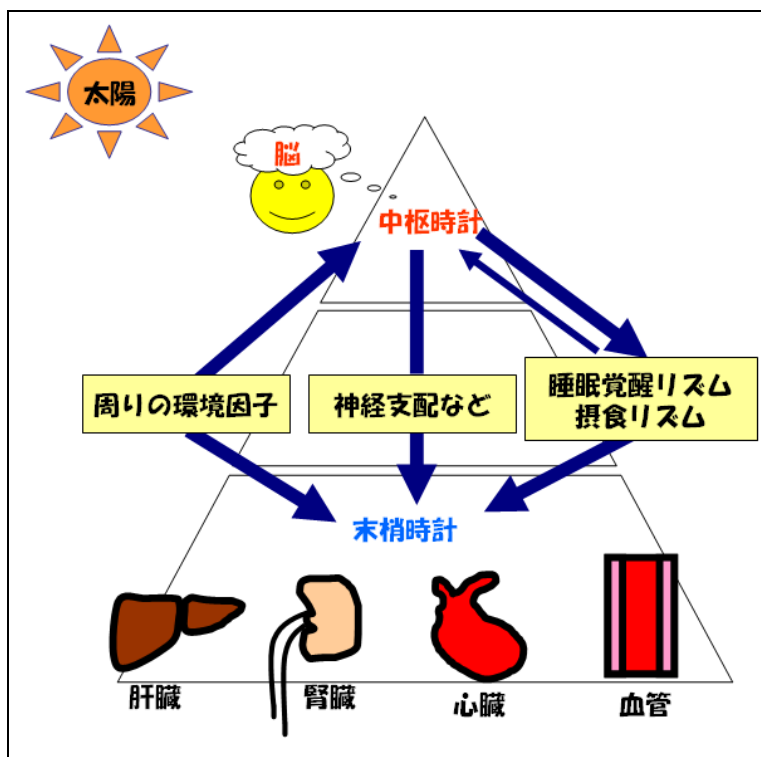
従来の睡眠薬のパターン



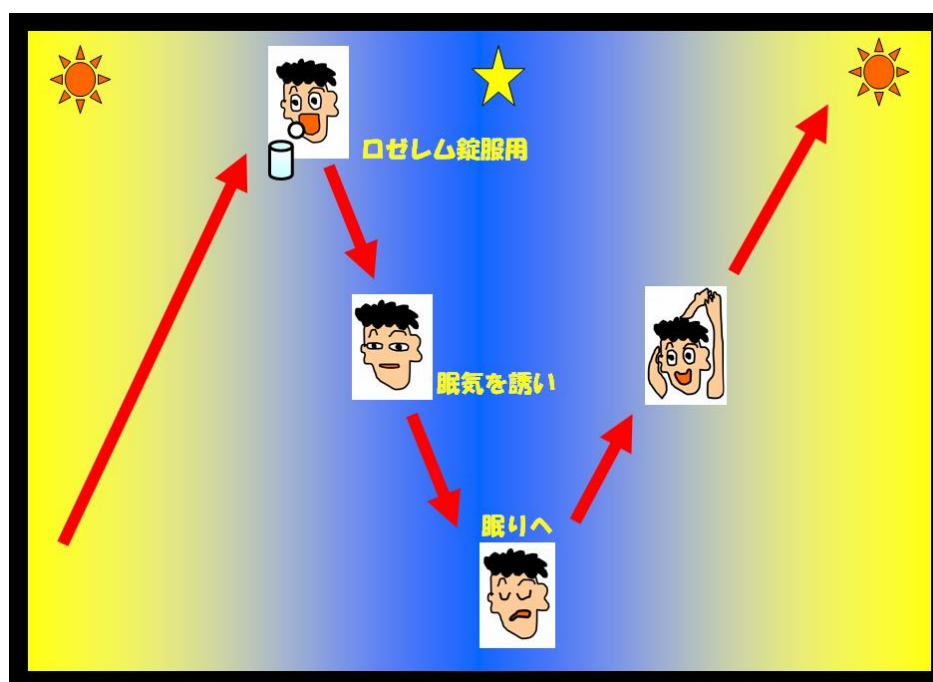
一方、**ロゼレム**は、体内時計機構に働きかけ、睡眠と覚醒リズムを整えることで、**脳と身体の状態を覚醒から睡眠へ切り替えて、鎮静作用によらない眠りへ導くことを期待したお薬**です。そのため、**従来の睡眠薬とは異なり前向性の健忘や筋弛緩作用**などの副作用がありません。

ロゼレムは生体リズムを整えることによって効果を発揮します。そもそも、生体リズムとは1日単位や1年単位で起こる生理機能の周期的変動のことであり、血圧の日内変動、睡眠中の成長ホルモンの分泌亢進などは生体リズムによる生理現象です。この生体リズムは、ほぼすべての器官や組織に存在する体内時計によって刻まれています。下にこの生体リズムの流れを示した。

生体リズムを維持するために重要なことは、体内時計を外界の時刻(現実の時間)と同調させることです。が、**体内時計は25時間周期のリズム**で刻まれているため、**外界の24時間周期**とはズレが生じてしまいます。このズレを修正するために、体内時計はさまざまな環境因子の影響を受けながら、昼間には活動に適した状態、夜間には休息に適した状態になるようリズムを刻んでいます。特に光は重要な同調因子で、**起床後に光を浴びることで、体内時計はリセットされ、外界の時刻とのズレを修正**しています。この時に人の体の中で重要な働きをするのが**メラトニン**です。



メラトニンは生体リズムの調整にかかわっているホルモンですが、そもそもメラトニンは外が明るい昼間はほとんど分泌されず、夕方以降暗くなってくると分泌量が増えて、脳と身体の状態を覚醒から睡眠へ切り替える働きを持っています。ロゼレムはメラトニンが働く場所と同じ場所にひつつくことによって、あたかもメラトニンのように働きます。このようにして、ロゼレムは人間本来の睡眠に近い効果を誘導するのです。



(薬剤部 初瀬(実習生)・若松)